



『聚楽学区防災まちづくり計画』を作成しました！

聚楽学区では、平成28年度から聚楽学区自主防災会を中心に、地域、行政、専門家等が一体となり、「災害に強いまち」を目指し、学区全体で「防災まちづくり」の取組を進めてきました。

これまで積み重ねてきた、まちの歴史や文化、両側町などのコミュニティを継承しつつ、災害から人命や財産を守り、将来にわたって誰もが安心安全に住み続けられるよう、継続して「防災まちづくり」に取り組んでいくための目標や方針、具体的な取組等について取りまとめた、『防災まちづくり計画』を作成しました。全戸配布させていただきますので、ご覧ください。



「防災まちづくり意見交換会」を実施しました！

1月30日(水)・2月6日(水)に、各種団体長・町会長・防災部長を対象に、防災まちづくり計画策定に向けた意見交換会を実施しました。防災まちづくり計画(案)の内容の確認、計画を実現するための各主体(一人ひとり・町内会・ブロック・学区)の役割や具体的な取組について話し合いを行いました。いただいた意見を踏まえ、『聚楽学区防災まちづくり計画』を取りまとめました。



第1ブロック



第2ブロック



第3ブロック



第4ブロック



第5ブロック

意見交換の主なご意見やそれを踏まえた今後の進め方については、裏面をご覧ください！

意見交換の主なご意見と今後の進め方

<主なご意見>

○防災上の課題について

- ・救急車などの緊急車両が進入・通り抜けできない通りがある。(猪熊通・上長者町通など)
- ・空き家に郵便物が溜まり、放火が心配。地域で空き家の管理や見守りができるとよい。
- ・台風の被害があった際に、空き家所有者と連絡を取るのが大変。
- ・学区の避難所であるため、元聚楽校の万代塀を安全なものに変えてほしい(猪熊通・葎屋町通)。

<今後の進め方>

- 道幅が4 m未満の通りは、所有者に働き掛け、後退部分の拡幅整備を進めます。
- 老朽化した危険な空き家は、所有者に適正に管理してもらうよう引き続き、京都市と連携して働き掛けていきます。
- 元聚楽校の万代塀は、安全な避難経路を確保するため、現在、京都市の関係各課に働き掛けています。

○学区内の連携・取組の実践

- ・町内の高齢者の情報は町内会長が把握する必要がある。民生委員とも連携する。
- ・組長の役割が大事。
- ・路地単位で防災意識を持つ。路地ごとの防災訓練は良いことである。
- ・配布物を配ることで安否確認の方法になる。
- ・地域行事を活用し、防災備品の確認・共有を行う(地藏盆、運動会、新年会など)。

- 今後、継続的に防災まちづくりに取り組むために、地域の各種団体や地域行事と連携を行い、地域資源を活用しながら進めていきます。
- 路地ごとの防災訓練については、今後も上京消防署と連携しながら取り組んでいきます。

「路地ごとの防災訓練」を実施しました！

2月9日(土)に、路地のある町内にお住いの方(神明町・東堀町)を対象に、上京消防署と連携し、消火訓練や路地からの避難訓練を実施しました。

訓練では、路地の適正管理や2方向避難の確保など、災害が起こる前から災害に強いまちをつくる「防災まちづくり」の取組の周知・PRも行いました。

今後も上京消防署と連携しながら、「災害に強いまち」に向けて、取組を進めていきます。

『路地ごとの防災訓練』の様子



上京消防署から災害時に取るべき行動について説明を受け、消火訓練を実施しました！

実際の災害を想定した路地からの避難訓練を行いました！



袋路(行き止まり路地)で2方向避難ができるかどうかなど、実際の状況を確認しました！

今後も引き続き、防災まちづくりの取組を進めていきますので、皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。